

揖斐川町の学校教育の現状と課題

令和7年7月30日
揖斐川町教育委員会

1

<主な内容>

- I 揖斐川町の概況
- II これまでの学校再編
- III 小中学校の現状
- IV 児童生徒の状況
- V 学校の特色ある教育
- VI 教育の更なる充実に向けて

2

豊かな自然に育まれた歴史と文化が息づくまち



- 揖斐川町は、県の最西部に位置し、北は福井県、西は滋賀県に隣接する県境の町である。
- 町の南東部は、濃尾平野の最北端に位置し、総面積803.44 km²（東西約 20km、南北約 35km）、91.1%を森林が占めている。冠山を源流とする揖斐川が町の中央部を南へと流れ、上流には日本一の貯水量を誇る「徳山ダム」がある。
- 気候は、平坦地域と山間地域では大きく異なる。夏には最高気温を記録する日もあれば、冬には積雪が2mにもなる地域がある。

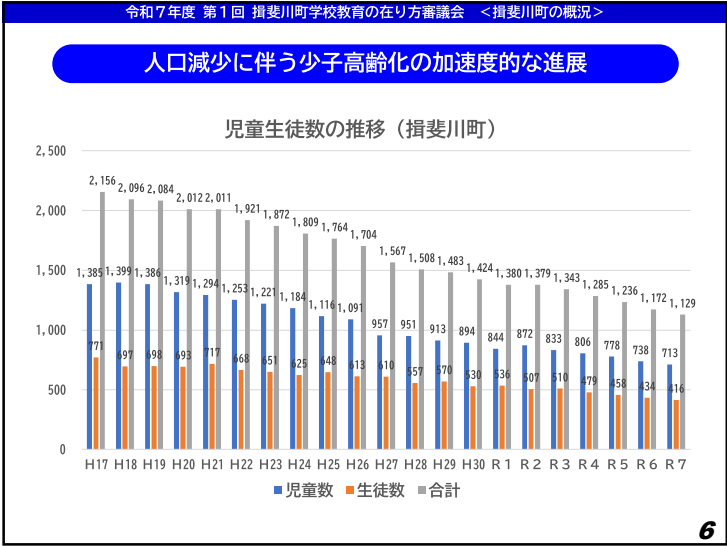
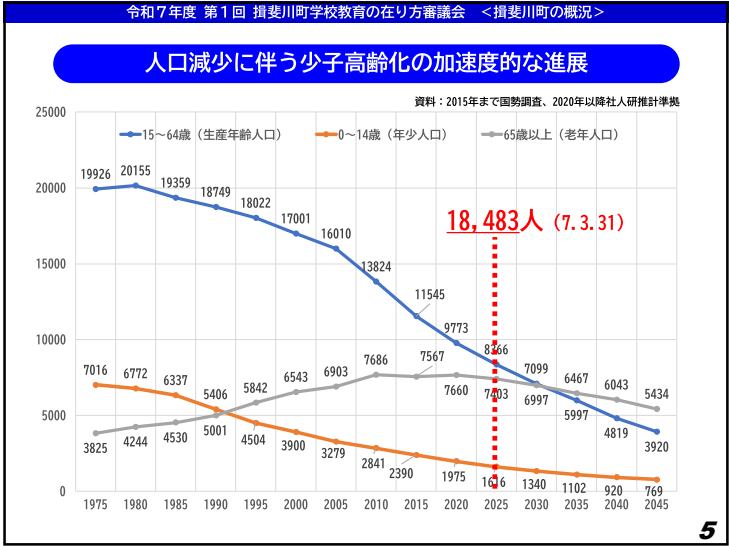
3

豊かな自然に育まれた歴史と文化が息づくまち



- 谷汲地内にある華厳寺や横蔵寺には、国指定文化財の仏像が安置されており、桜咲く季節や紅葉鮮やかな頃には多くの観光客が訪れる。
- 町内には、太鼓踊りが伝承されており、谷汲踊り、川上ほうろ踊り等が県指定文化財に登録されている。また、揖斐祭りでは、地域の子どもたちが演じる子ども歌舞伎が奉納されている。
- 昭和63年に始まったいびがわ馬拉ソン、美濃いび茶や春日の薬草など、揖斐川町を代表する特産品や文化が広く知られている。

4



令和7年度 第1回 揖斐川町学校教育の在り方審議会 <揖斐川町の概況>

人口減少に伴う少子高齢化の加速度的な進展

- ▼ 大幅な人口減少
 - 町の人口は、1980年（昭和55年）の31,171人をピークに減少の一途をたどっており、令和7年3月31日には、18,483人となり、約1万人以上が減少した。
- ▼ 高齢化と少子化の進展
 - 人口減少とともに、少子高齢化の進行も顕著で、令和2年時点の高齢化率は38.5%となり県平均の30.4%を大きく上回っている。
 - 0~14歳の子供の人数は減少を続けており、町の総人口に占める割合は、10.2%で、県平均の12.3%を下回っている。
- ▼ 生産労働人口の減少（流出）
 - 生産年齢人口は、昭和55年をピークに減少、老年人口と年少人口は、平成2年と平成7年を境に逆転している。
 - 老年人口と生産年齢人口においても、2030年と2035年を境に逆転するという推計値になっている。

7

令和7年度 第1回 揖斐川町学校教育の在り方審議会 <これまでの学校再編>

平成の町村合併以降の小中学校の統合

- 平成17年1月31日、1町5村（揖斐川町、谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村）が合併し、以後、小中学校は9件の再編・統合を経て現在に至る。

時期	平成17年1月31日 (町村合併)	平成19年3月31日 長瀬小統合 (谷汲小) 藤橋小統合 (北方小) 藤橋中統合 (北和中)	平成26年3月31日 久瀬小統合 (北方小) 久瀬中統合 (北和中) 春日中統合 (揖斐川中)	令和4年3月31日 坂内小統合 (北方小) 坂内中統合 (北和中)	令和7年3月31日 春日小統合 (小島小)
小学校	11校	9校	8校	7校	6校
中学校	7校	6校	4校	3校	3校
合計	18校	15校	12校	10校	9校

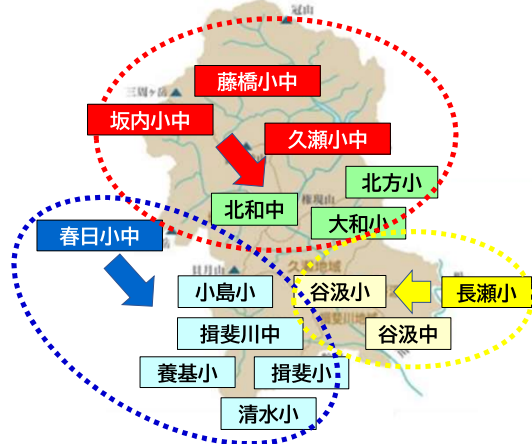
2年 7年 8年 3年

✓ 学校の小規模化を解消し、一定の集団規模を確保することで多人数で学び合い、見方や考え方の深化・拡充、人間関係づくりや社会性等の育成を重視！

これまでの学校再編 = (小規模校 → 大規模校)

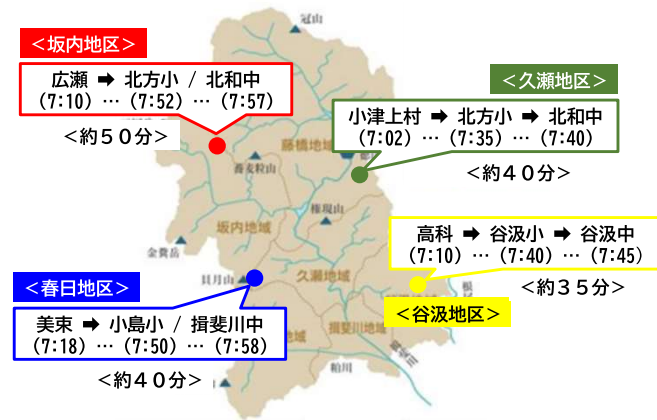
8

平成の町村合併以降の小中学校の統合



9

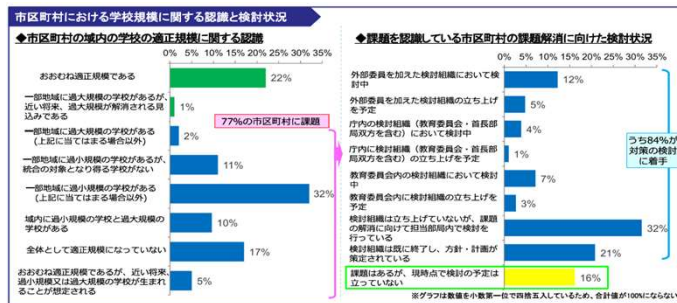
学校統合による遠距離通学者の通学時間



10

全国の市区町村における学校規模に関する認識と検討状況

「学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査」(3年度)



- ◆ 学校規模に課題があるとの認識(77%)
 - 一部地域に過小規模校がある(32%)、全体として適正規模になっていない(17%)
- ◆ 何らかの検討組織で検討中・立ち上げを予定(32%)
 - 外部委員を加えた組織(17%)、庁内の組織(5%)、教育委員会内の組織(10%)

11

文部科学省の学校規模等に関する基本的な考え方

- 「学校の適正な規模や配置に関する手引」(27.1)
 - 学校教育では、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばすことが重要
 - 公立小学校と中学校では、一定の集団規模を確保
- 法令による規定(学校の「適正な規模」・学校の「規模標準」)
 - 「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」(33.6.27)

第4条(適正な学校規模の条件) 適正な規模の条件は次の各号に掲げるものとする。

 - 学級数がおおむね 12学級から18学級まで であること。
 - 通学距離が、小学校にあってはおおむね4km以内、中学校にあっては、おおむね6km以内 であること。
 - 「学校教育法施行規則」(22.5.23、33改正)

第41条 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

第79条 第41条の規定は、中学校に準用する。



12

令和7年度 揖斐川町内の小中学校の規模

学校名	校舎	児童数	学級数	学校名	校舎	生徒数	学級数
揖斐小		117	通常6 知的1 自情1	揖斐川中		249	通常9 知的1 自情1
清水小		57	通常5 (複式1)				
小島小		174	通常6 知的2				
養基小		176 (86)	通常6 知的2 自情1				
大和小		105	通常6 知的1	北和中		123	通常6 知的1
北方小		83	通常6 知的1				
谷汲小		93	通常6 知的1	谷汲中		45	通常3

13

小学校及び中学校の教員配当基準（岐阜県）

「小学校教員配当基準」＊学級は通常学級のみ、教員数には教頭を含む。

学級数	教員数	学級数	教員数	学級数	教員数
1	1	8	10	15	18
2	2	9	11	16	19
3	4	10	12	17	20
4	5	11	13	18	21
5	7	12	14	19	22
6	8	13	15	20	23
7	9	14	17	21	24

「中学校教員配当基準」＊学級は通常学級のみ、教員数には教頭を含む。

学級数	教員数	学級数	教員数	学級数	教員数
1	4	8	14	15	24
2	6	9	15	16	25
3	7	10	17	17	27
4	8	11	18	18	29
5	9	12	19	19	31
6	10	13	20	20	32
7	12	14	22	21	33

14

在籍児童生徒数の推移（学校別）

年度/令和	6年度 (5/1実績)	7年度 (5/1実績)	8年度 (推計値)	9年度 (推計値)	10年度 (推計値)	11年度 (推計値)	12年度 (推計値)
揖斐小	125	113	102	101	86	78	74
大和小	103	103	97	90	82	72	68
北方小	99	84	79	71	63	59	56
清水小	62	58	59	58	51	50	51
小島小	154	173	155	151	141	131	132
春日小	9						
谷汲小	99	95	92	79	76	69	51
腰永地区	87	86	85	82	83	84	86
合 計	738	712	669	632	582	543	518
年度/令和	6年度 (5/1実績)	7年度 (5/1実績)	8年度 (推計値)	9年度 (推計値)	10年度 (推計値)	11年度 (推計値)	12年度 (推計値)
揖斐川中	252	244	242	231	236	221	206
北和中	133	121	114	110	109	109	92
谷汲中	49	45	47	49	44	48	50
合 計	434	410	403	390	389	378	348

15

学年/学級別児童数の推移（小学校）

複式学級編制

年度	7年度（実績）						8年度（推計値）						9年度（推計値）					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
揖斐小	12	17	21	24	17	26	13	12	17	21	24	17	16	13	12	17	21	24
大和小	12	14	21	17	21	20	13	12	14	21	17	21	14	13	12	14	21	17
北方小	8	8	14	18	18	17	12	8	8	14	18	18	10	12	8	8	14	18
清水小	12	5	10	12	11	7	8	12	5	10	12	11	11	8	12	5	10	12
小島小	36	18	26	29	28	37	18	36	18	26	29	28	25	18	36	18	26	29
谷汲小	13	21	16	11	20	12	10	13	21	16	11	20	9	10	13	21	16	11
合 計	93	83	108	111	115	119	74	93	83	108	111	115	85	74	93	83	108	111
年 度	10年度（推計値）						11年度（推計値）						12年度（推計値）					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
揖斐小	10	16	13	12	17	21	12	10	16	13	12	17	10	12	10	16	13	12
大和小	8	14	13	12	14	21	9	8	14	13	12	14	11	9	8	14	13	12
北方小	10	10	12	8	8	14	10	10	10	12	8	8	4	10	10	10	12	8
清水小	6	11	8	12	5	10	10	6	11	8	12	5	7	10	6	11	8	12
小島小	17	25	18	36	18	26	16	17	25	18	36	18	18	16	17	25	18	36
谷汲小	10	9	10	13	21	16	11	10	9	10	13	21	4	11	10	9	10	13
合 計	61	85	74	93	83	108	68	70	85	74	93	83	54	68	70	85	74	93

16

小学校区別出生数の推移（令和13年度 小学校の在籍児童数見込み）

（人数） 令和7年3月31日現在

学校区	0歳 令和6年生	1歳 令和5年生	2歳 令和4年生	3歳 令和3年生	4歳 令和2年生	5歳 令和元年生	合計
揖斐小学校区	6	10	12	10	16	13	67
清水小学校区	5	7	10	6	11	8	47
小島小学校区	11	18	16	17	25	18	105
脛永地区	5	3	6	10	10	15	49
大和小校区	10	11	9	8	14	13	65
北方小学校区	2	4	10	10	10	12	48
谷汲小学校区	9	4	11	10	9	10	53
合 計	48	57	74	71	95	89	434

17

「確かな学力」の育成

<令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果分析より>

<国語（小・中）の課題>				<算数（小）・数学（中）の課題>			
▼ 事実と感想、意見との区別が明確でないなど、自分の考えを伝える書き表し方に課題がある。				▼ 図形や単位量当たりの大きさ等について、深い理解を伴う知識の習得やその活用に課題がある。			
▼ 自分の考えを記述する際、必要な情報を取り出すことや表現の効果を考えることに弱さがある。				▼ 集団のデータ分布の傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに弱さがある。			
Q1) 国語の学習は楽しいと思いますか。				Q2) 国語の学習はよく分かりますか。			
校 種	揖斐川町	岐阜県	全国値	校 種	揖斐川町	岐阜県	全国値
小学校	50.9%	41.9%	38.0%	小学校	23.7%	14.9%	13.6%
中学校	42.0%	39.2%	35.5%	中学校	17.7%	16.8%	16.6%
Q3) 算数/数学の学習は楽しいと思いますか。				Q4) 算数/数学の学習はよく分かりますか。			
校 種	揖斐川町	岐阜県	全国値	校 種	揖斐川町	岐阜県	全国値
小学校	42.7%	38.4%	39.1%	小学校	21.8%	16.3%	17.9%
中学校	44.9%	41.7%	42.5%	中学校	25.8%	21.6%	23.8%

18

「豊かな心」の育成

<令和6年度「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙調査より>

No.	質問項目	区 分	小学校		中学校	
			そう思う	どちらかという とそう思う	そう思う	どちらかという とそう思う
9	自分には、よいところ があると思いますか。	揖斐川町	44.5	46.4	47.1	40.4
		岐阜県	42.1	43.1	42.3	42.2
		全国値	43.4	40.7	40.4	42.9
11	将来の夢や目標を持っ ていますか。	揖斐川町	46.4	32.7	35.3	27.2
		岐阜県	58.3	22.9	37.1	29.7
		全 国	60.6	21.8	36.1	30.2
12	人が困っているときは、 進んで助けていますか。	揖斐川町	49.1	46.4	52.9	38.2
		岐阜県	49.6	44.2	43.3	48.5
		全国値	46	46.7	38.3	51.8
19	生活の中で幸せな気持ち になることはどれくらい ありますか。	揖斐川町	47.3	43.6	47.1	40.4
		岐阜県	49.9	42.2	45.2	45
		全 国	50.8	40.9	44.6	45.2
25	地域や社会をよくするた めに何かしてみたいと思 いますか。	揖斐川町	30	50	40.4	47.8
		岐阜県	37.1	47.5	29.0	49.8
		全国値	36.8	46.7	26.4	49.7

19

「健やかな体」の育成

<令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果分析より>

<体力・運動習慣の側面>	<生活習慣・運動意識の側面>
▼ 体力・運動面は、中学男子ではコロナ前の水準に戻ったが小学男子・中学女子では前年度からほぼ横ばい、小学女子は引き続き低下	▼ 学習以外のスクリーンタイムが3時間以上の割合は、小中男女ともに増加
▼ 1週間の総運動時間が420分以上の割合は、小学校で増加、中学男子は横ばい、中学女子は減少	● 「運動は好き」と答えた児童生徒は、小中男女ともに増加し、中学男子では過去最高
	● 「体育・保健体育は楽しい」と答えた児童生徒は小中男女ともに増加し、小中男子では過去最高
<学校生活における取組み>	
● 授業を通して、遊びやスポーツへの愛好度を高めるとともに、「チャレンジズポーツINぎふ」等の取組みを活用し、運動に親しもうとする意識を高めている。	
● 体力向上に係る継続的な取組とその結果が評価され、令和6年度に管内の大和小学校が「岐阜県体力優良校」に選ばれた。 5年生：体力テスト総合評価がC以上の児童の割合が男子90.0%、女子77.8%	

20

不登校児童生徒の居場所づくりと学びの保障

<揖斐川町における課題と解消に向けた方向性>

- ◎ 不登校未然防止と不登校児童生徒及び保護者への支援
 - ・ 小規模校の特性を活かした魅力ある学校づくりと学校の教育相談体制及び教育相談力の強化
 - ・ (民間を含む) 専門機関・関係機関との連携・協力による適応支援と学びの保障の充実

<不登校の未然防止> ◎ 楽しい学校をつくる (=温かい人間関係づくりと分ける授業の提供)

<不登校児童生徒の支援> (重点) 教育相談体制及び教育相談力の強化と学びの保障!

<心のケア>	<居場所づくり>	<学びの保障>	<保護者支援>
・ 教育相談主任を中心にしたチームによる支援体制と専門研修 ・ S C、S 相、心の相談員養護教諭等による専門的な支援	・ フリースクール等の民間機関との連携会議の実施 (検討中) ・ 校外支援センター (揖斐郡ほほえみ教室) の利用 ・ 校内支援センター (町内3中学校に設置) の利用 ・ 保健室、相談室等の利用	・ オンライン授業、デジタル教材等、ICTを活用した学習支援 ・ 西濃学園中高との連携・協力による保護者向けセミナー (検討中)	・ ほほえみ教室主催の専門医による保護者向け研修講話

- 校内支援センター (町内3中学校に設置) の運営
 - ・ 心の相談員 (教員免許所有者) が校内支援センターに常駐し、不安や悩みを抱える生徒の相談に応じるとともに、教室の授業につながるよう、教科等の学習を支援する。

中学校	心の相談員	連携校	心の相談員の勤務
揖斐川中 (新設)	1人	揖斐小、清水小、小島小	・ 中学校の校内支援センターの在室状況に応じて、小学校の要請に応じて訪問し、面談等を行うことができる。
北和中 (既設)	1人	大和小、北方小	
谷汲中 (新設)	1人	谷汲小	

21

ふるさとへの誇りと愛着を育てる「ふるさと学習」

<ふるさと学習>

- ◎ 地域の自然・歴史・伝統文化・産業等について学ぶ「ふるさと学習」の取組みを通して、ふるさとへの誇りと愛着を育み、よりよい地域社会を創り、貢献する活動にチャレンジする。

◆「地域の伝統文化を学ぼう！」(揖斐小)

- ・ 地域の伝統文化として受け継がれている「子ども歌舞伎」。お囃子の横笛奏を体験しながら祭りの歴史や先人の思いについて考えを深める。

◆「まち探検に出かけよう！」(清水小)

- ・ お世話になっている地域の皆さんとの触れ合いながら地元の名所や旧跡、商店街や事業所、公共施設等を訪問し、ふるさとの自慢を発見・体験し、発表交流する。

◆「豊かな地域の自然を守ろう！」(北和中)

- ・ 揖斐川町は約91%を森林のまち。地域の森林資源は生命を育てることにつながっている。生徒たちが豊かな自然を守る活動に取り組んでいる。

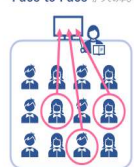


22

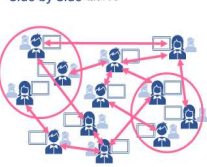
ICTを活用した授業改善 (学習のDX化)

かつての学びと現代の学び

Face to Face かつての学び



Side by Side 現代の学び



令和6年度全国学力・学習調査 児童生徒質問紙調査	小学校6年 (%)		中学校3年 (%)	
	揖斐川町	全国値	揖斐川町	全国値
授業でタブレット等の機器を活用していますか。(ほぼ毎日、週3日以上)	50.9	59.5	82.3	64.4
学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、タブレット等のICT機器を勉強のために使っていますか。(3時間以上/2時間以上3時間未満)	3.6	3.2	2.9	2.3
	4.5	4.3	4.4	3.8

23

グローバル人材の育成 (価値観の異なる様々な人との交流)

◆「中高生海外派遣研修」

- ・ 米国セントジョージ市でのホームステイ、現地校との交流等を実施
- ・ いびがわマラソンで現地中学生の受入れを実施

◆「小学生県外派遣研修」

- ・ 北海道芽室町での民泊、農業体験等を実施
- ・ 揖斐川町への児童の受入れ、交流活動を実施

◆「ALT英会話の授業」

- ・ 計6人のネイティブスピーカーによる授業。小3日間、中5・3日
- ・ 小学校英語指導員2人を2校に配置し、英語の授業をサポートしている。

◆「海外・県外遠隔授業」

- ・ G K 1 岐阜県人会等の紹介で現地の皆さんと交流
- ・ 県外の小中学校や異校種、異学年間による交流



24

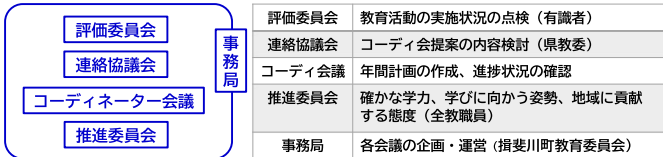
連携型中高一貫教育（県立揖斐高校&町立3中学校）

- 平成16年度からの「**連携型中高一貫教育校**」では、高校と中学校が、
- ・ 目標、育成する生徒像を共有し、学習、学校行事等の教育活動や教員間、生徒間の交流等を深める。
 - ・ 地域社会との連携・協力を図る。



- 入学者選抜を工夫して実施
- ・ 面接、学力検査（5教科）

<推進組織> 揖斐高校・揖斐川町教育委員会・揖斐川中、北和中、谷汲中



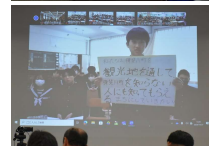
25

多様な学びの場の保障「立志式」「地域学び塾」「町長と語る会」

<多様な学びの機会の保障>

- ◎ 子供たち一人一人がもつ能力等を引き出し、学習意欲を高めながら、自己肯定感や社会への参画意識を育む活動を行っている。

- ◆「**木育・森林マイスター活動**」（小学生）
 - ・ 小学生が森林に触れる、遊ぶ、体験する活動を通して地域の豊かな自然環境について学ぶ。
- ◆「**立志式**」（中学3年生）
 - ・ 町内で学ぶ中学3年生が将来の生き方や進路の実現に向けて誓いを立て、仲間や先輩との交流を通してキャリア形成を図る。
- ◆「**地域学び塾**」（中学生）
 - ・ 夏休みに中学生を対象に15日間8会場で講座を開設し、教員OBや大学生等を指導者に生徒が自ら計画を立てて学習を進める力を育んでいる。
- ◆「**中学生と町長が語る会**」（中学3年生）
 - ・ 町内の中学3年生が町政やまちづくりをテーマに町長と意見を交わし合い、地域の課題について考えてきたことを踏まえて提案する。



26

各学校の教育課題の解決と学校の魅力化促進

<学校提案型の教育研究推進の取組み>

- ◎ 地域や学校の特色を活かした教育活動を実践し、児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな体等を育成し、教育課題の解決を図る。

No.	類型	主な内容
1	主体的・協働的で深い学びの実践	① 教育内容に応じた指導方法の工夫改善
2	生命尊重、思いやりの心の醸成	① 児童生徒の心に響く道徳教育 ② 向和問題を始めた人権課題の解決を図る教育
3	読書力の向上	① 学校図書館コーディネーターを活かした図書館の整備・読書活動 ② 公共図書館等と連携した読書活動
4	個別的教育的ニーズに応える支援	① 特別支援教育の充実（研修会等の職員の資質・指導力の向上） ② 教育相談（不登校未然防止・対応）の充実
5	キャリア教育の推進	① 将来に対する夢や希望を育む活動 ② 望ましい勤労観・職業観と自尊感情を育む活動
6	健康教育の推進	① 家庭・地域と連携した「早寝 早起き 朝ごはん運動」 ② 「チャレンジスポーツinぎふ」の取組み等、体力・運動能力の向上
7	ふるさと教育の推進	① 地域の教育資源・地域施設を活用した豊かな体験活動 ② 主権者としての自覚と社会参画の力を育む活動
8	地域とともにある学校づくり	① コミュニティ・スクール、家庭・地域との連携・協働を深める活動
9	学校間・校種間の連携強化	① 幼児園・小学校間の連携を強化する活動 ② 小・中学校間の連携を強化する活動 ③ 中・高等学校の連携を強化する活動
10	ICT活用、情報モラル教育の推進	① ICT利活用による授業（学習）改善 ② ICTルールメイキングなど児童生徒主体の情報モラル教育の充実

27

地域とともにある学校づくりの推進（コミュニティ・スクール）

<すべての町立小中学校に学校運営協議会を設置> 令和7年4月1日～

- ◎ 誰一人取り残さない教育を推進することや、学校だけでは解決が難しい課題の解決を図ることなどに向けて、保護者や地域住民が、これまで以上に教育の当事者となって子供たちの健全育成に携わる体制を各学校に整える。

月	取組み	主な内容（例）
4月	<任命書交付> 3日(木)・代表区長 9日(水)・公民館長 18日(金)・校長、P会長他	<研修> ・学校運営協議会規則及び活動計画の確認 ・会長の選出（互選） ・部会の設置（任意）
5月	第1回学校運営協議会 （各学校で開催日時を決定）	(1) 学校運営協議会規則及び活動計画の確認 (2) 会長、副会長の選出 (3) 学校運営方針等の承認 (4) 授業参観及び意見交流 等
8月	揖斐川町学校運営協議会委員 研修会	(1) CSマイスターによる講座 (2) 学校間の情報交流 (3) 今後の予定（各学校）
10月	第2回学校運営協議会 （各学校で開催日時を決定）	(1) 授業参観、教職員との意見交流 (2) 協議会に基づく協議 <共通議題> 児童生徒の安全な登下校の在り方
2月	第3回学校運営協議会 （各学校で開催日時を決定）	(1) 授業参観、教職員との意見交流 (2) 学校関係者評価 (3) 次年度に向けて

28

子供たちの学びを支援する主な施策事業

<令和7年度 揖斐川町教育委員会事業予算・教育費>

一般会計 14,100,000千円 (13,620,000千円) 前年度比 3.5%増

教育費 教育総務費、小・中学校費、社会教育費 1,331,530千円 (1,357,546千円)

No.	事業内容	概要・事業費（前年度当初予算額）
1	小中学生給食費助成	72,839千円（62,270千円）小715人、特小9人、中416人、特中3人 月額改定：小4,500円→5,500円、中5,100円→6,300円
2	修学旅行費助成	11,160千円（11,630千円）小30,000円137人/中50,000円141人 町内在住の町立小中、養基小、特別支援学校小・中学部在籍
3	I C Tによる学習支援	9,834千円（10,591千円） キュビナ87,920円、ロイロノート81,100円 *小中1,085人
4	地域での学習支援事業	1,853千円（1,853千円）「地域学び塾」事務費、講師謝金等 R 6実績・8会場15日間、講師17人、生徒89人（20%）
5	第2期G I G A端末整備事業	15,124千円（新規）国費による県基金＋地方交付金＋町費 端末をiPadに変更、児童生徒＋教員＋予備＝計1,313台
6	私立幼稚園児の給食費助成	1,806千円（1,818千円）主食費と副食費 対象：満3歳児以上（所得制限無）、上限4,000円 揖斐川町副食費の施設による徴収に係る補足給付事業（国県補助） 対象：満3歳児以上（所得制限有）、副食費のみ
7	高等学校就学準備支援金	4,596千円（4,844千円）県補助 対象：中学3年生卒業後の進学、就職等の準備費用、1人30,000円
8	教頭マネジメント支援員配置	1,981千円（新規）国・県補助1人（4h/日*5日/週） 教頭の業務負担軽減、9小中を巡回で支援

いびがわ学園構想（=これからの社会をつくる人材の育成）

